

事業所名

児童デイサービス ぶどうの木阪神国道

支援プログラム (参考様式)

作成日

R6

年

8月

24日

|           |                 |                                                                                                                                                                                |      |     |         |         |                                                                                                |    |
|-----------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|---------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 法人(事業所)理念 |                 | 子どもたちの豊かな歩みにできることを                                                                                                                                                             |      |     |         |         |                                                                                                |    |
| 支援方針      |                 | 事業所の理念をもとに「豊かに人生が送れるよう今から準備していく」「楽しく学ぶことを第一に考える」ことを支援のモットーと考えています。行動観察や発達検査、知能検査を実施したあとに一人ひとりに合った支援の内容を検討し、一對一の担当制、必要に応じた小集団での活動にて子どもたちの「できた!」という達成感を大事にしながら成長を支援しています。        |      |     |         |         |                                                                                                |    |
| 営業時間      |                 | 9時                                                                                                                                                                             | 0分から | 18時 | 0分まで    | 送迎実施の有無 | あり                                                                                             | なし |
| 支 援 内 容   |                 |                                                                                                                                                                                |      |     |         |         |                                                                                                |    |
| 本人支援      | 健康・生活           | 服やボタンの着脱や食事のための作業療法、衣服の前後左右の理解のための認知理解の向上、トイトレを進めるための下準備とペアトレ、姿勢保持のための体幹トレーニング、整理整頓のための認知理解の向上や仕組み化、身だしなみを整える方法や意識の獲得、時計やカレンダー、お金の理解など、精神的な健康の増進                               |      |     |         |         |                                                                                                |    |
|           | 運動・感覚           | プレイルームでトランポリンや平均台、風船バレー、ボール投げなどで身体を動かす、着席の持続や姿勢の保持の訓練や環境調整、ビジョントレーニング、明瞭な発語につながるように口の体操、感覚の特性の把握と環境調整のサポート                                                                     |      |     |         |         |                                                                                                |    |
|           | 認知・行動           | 色々な遊びを通して認知理解、わかることを増やすことで興味関心を広げる、形・色・動き・時計・カレンダーなど視覚情報全般について見て理解できることを増やす、興味関心の偏りや想像力の欠如に伴うイメージ化の難しさへの支援とそれに伴って行動することへの難しさの改善                                                |      |     |         |         |                                                                                                |    |
|           | 言語<br>コミュニケーション | 遊びを通して言葉を学ぶ、ルールの説明や言葉での指示を理解して課題に取り組む、ひらがなの読み書きを学ぶ、1週間の出来事を振り返り自分の言葉で伝える、またはそれを感想文として書いて伝える、言葉により相互交渉を深めるための支援、本人の特性に合わせたコミュニケーション方法の獲得                                        |      |     |         |         |                                                                                                |    |
|           | 人間関係<br>社会性     | 基本的な安心感の獲得・向上、他者への興味関心を深める、ルール性のあるゲームに参加する、イメージ化が必要なゲームを取り入れる、指示に従って行動する(言語理解も含めて)、勝負の勝ち負けを受け入れる、集団場面で自分の話をし受け入れられる経験を持つ、社会的なルールやマナーを知る、自分のよかった出来事や頑張ったことを周りの友達にシェアし、お互いに褒め合う。 |      |     |         |         |                                                                                                |    |
| 家族支援      |                 | 療育の様子の観察、説明を通して子どもとの発達特性や感覚特性を理解した上でより良い関わり方を知っていただき、ペアレントトレーニングを行う。また日々の生活での不安や悩みを相談できる機会を提供する。                                                                               |      |     | 移行支援    |         | 所属している集団生活への訪問や担任の先生からの情報共有を通して集団での過ごしやすい環境を調整する。また、通所での療育を通してできることわかることを増やし集団での過ごしやすさにつなげていく。 |    |
| 地域支援・地域連携 |                 | 定期的に保育所等訪問支援や担任の先生方との情報共有を行うことで子どもたちのより良い集団生活の場の環境調整を行う。                                                                                                                       |      |     | 職員の質の向上 |         | 施設内でのケースカンファレンスを行い、より良い支援の内容を検討する機会を持つ。オンライン研修の導入                                              |    |
| 主な行事等     |                 | 夏祭り、ハロウィン、クリスマス会                                                                                                                                                               |      |     |         |         |                                                                                                |    |